

北海道富良野緑峰高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

全国の農業高校の行動計画		学校において平成29年度に重点化した取組の実現状況・課題			
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育 で人材を育てる 学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	(1) アグリマイスター顕彰制度の推奨を継続し、農業教育の質を向上させる。	・農ク3大行事で入賞者多数などの成果を上げた。 ・アグリマイスターの顕彰制度の推奨の継続	・アグリマイスターの維持と資格取得合格率の向上	3
	②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	(1) 外国人観光客などインバウンドとの交流を行う。	・地域におけるイベントや販売に参加したが、外国人観光客との交流は少なかった。	・地域イベントにおいてのインバウンドへの具体的計画が必要	2
II 地域社会・産業に寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	(1) インターンシップにおいて、農業とそれに関わる産業体験を充実させる。 (2) 栽培試験作物における近隣先進農家との交流	・農家、食品製造などのインターンシップを実施 ・課題研究において先進農家と交流	・継続して実施し更なる向上 ・継続して実施	5
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	(1) 地域関連産業施設の見学や近隣先進農家の講演会を行う。	・農業関連施設・6次産業先進農家の視察を実施 ・講演会を2月に予定	・継続して実施 ・継続して実施	5
III 地球環境を守り創造する学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	(1) 作物の試験的品目別の特別栽培の実施	・専攻班活動においてスイカ、サツマイモの特別栽培を実施	・継続して実施する ・2品目以外の検証	4
	⑥「食農」教育を推進します。	(1) 地域の幼稚園、小学校、中学校と連携し本校の生産野菜を通じて食と農業の大切さを伝える。	・幼稚園でジャガイモ栽培、小学校で玉葱栽培、中学校でカレー教室など実施	・継続して実施	5
IV 地域交流の拠点となる学校	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	(1) グリーンツーリズムの展開 (2) 授業における富良野資源の活用	・本州の大学との交流 ・富良野ワインにおける残渣、ワイン樽の利用	・継続して実施し更なる富良野資源の活用	4
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	(1) 市内施設の草花装飾活動の充実 (2) 専攻班活動を通して、多くの地域交流を図る。	・富良野駅や市内ホテルの花壇造成を実施 ・5つの専攻班すべてで地域の交流活動を実施	・継続して実施	5
	⑨「機関・団体と連携した」教育を行います。	(1) 農業関連機関と連携し、生徒の農業に対する見識を高める。	・上川振興局農務課と連携し農業視察研修や講習会を実施	・継続して実施	5
V 地域防災を推進する学校	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	(1) 本校が避難場所のため、災害に備えての各機関との連携強化を行う。 (2) 実習における安全対策の実施	・校内における防災訓練を実施 ・危機管理マニュアルに基づく管理	・継続して実施	5